

ニーズ調査の概要

1 目的

- ・ 子ども・子育て支援事業計画には、学校教育・保育などについて、「量の見込み」、「確保の内容」、「実施時期」を記載することとなっているため、各事業の今後の利用見込みを把握する。
 - ・ ・ ・ (国) 必須項目 + (国) 任意項目
- ・ 子育て世帯の意識等を把握するため、5年前実施した次世代育成支援行動計画(後期計画)策定時の調査項目を継続して調査する。
 - ・ ・ ・ (市) 任意項目
- ・ 新たな取組みを計画に盛り込むにあたり必要な調査を行う。
 - ・ ・ ・ (市) 任意項目

2 調査方法と調査件数

- ・ 0～11歳の児童約43,000人中、無作為に12,000人を抽出し、その保護者あて調査票を送付、返信用封筒で回答。委託業者に調査票を渡し、集計する。
- ・ 今回の計画では、「教育・保育提供区域」を設定し、その区域ごとに施設の確保を考えることとなる。現在9区域を想定しており、区域ごとに信頼できる調査結果を得るため、対象を前回調査より増加させた(5年前の調査は6,000件)。
- ・ 「現在の利用状況」に「今後の利用希望」を加味し、量の見込みを算出する。

3 調査内容

- ・ 定期的な教育・保育施設の利用状況、地域の子育て支援事業の利用状況、放課後児童クラブの利用希望等
- ・ (国)任意項目や前回の調査項目を必要に応じて加除

4 スケジュール

平成25年 9月末に調査票発送

平成25年10月末までに調査票回収

平成25年12月までに単純集計を県に報告

平成26年3月までに調査報告書作成、量の見込みを県に報告